6　芸術（音楽）

学校番号	T2101

平成３１年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	年次	３～４
使用教科書	高校生の音楽２（音楽之友社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間考査まで	青春と音楽	【歌唱】 歌の翼に 涙そうそう 唱歌の四季	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	芸術と音楽（劇音楽・独唱）	【鑑賞】 オペラ「トスカ」 交響曲第9番「合唱」 【歌唱】 美女と野獣 オンブラ・マイ・フ	○		○		a:劇や物語と音楽の関わりに関心を持ち、意欲的に歌唱したり、演奏したり、鑑賞しようとしている。 c:曲想をイメージを持って表現するための技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
前期期末考査まで	アンサンブルを楽しもう	【器楽】 みんなでアンサンブルしよう。(演奏したい曲を自分たちで考える) 【鑑賞】 交響曲第5番 交響詩「ローマの松」 【その他】 西洋音楽の流れ 作曲家年表 音楽史年表	○	○	○		a:楽器の音色や奏法及び、それらの組合せの面白さに関心を持ちそれらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:声や楽器の音色の特徴や楽曲の文化的・歴史的背景に関心を持ち主体的に鑑賞しようとしている。 c:音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と歌詞の内容や楽曲の背景との関わりを感じとることができるか。。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a, b, c の３観点で、「鑑賞」の分野は a, d の２観点で評価をする。

※　半期を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。